



## 武蔵野市水環境連続講座「水の学校」とは？

「水の学校」は、市民のみなさんといっしょに、水を知り、考える7回連続のシリーズ講座です。くらしの中の身近な水循環、上下水道の役割や、水に親しみ水を楽しむ知恵、そして世界規模の水課題、地球規模の水循環まで、水をとりにくさまざまなテーマをとりあげ、楽しみながら考えを深め、行動へつなげます。

## 連続講座レポート 第4回 武蔵野市の水循環を考え、「環境フェスタ」で伝えよう

10/4(土)の連続講座第4回は、「武蔵野市の水循環を考え、「環境フェスタ」で伝えよう」。水の源と水の行方を体験したツアーを振り返りながら、受講生同士がこれまでに感じたことを互いに話し合いました。また、2週間後の「むさしの環境フェスタ」でのブース出展に向けて、より多くの人に伝えたいテーマをグループごとに考え、発表しました。

### 水に関して伝えたいことは？

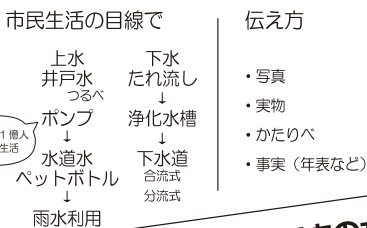
これまでの3回の講座を写真で振り返ると、みなさん感想を思い思いに口に、見学ツアーの際には受講生同士で感想を交わす機会が少なかったためか、グループごとに話が盛り上がりました。

それぞれに感じたことの中から、特に「武蔵野市民に伝えたい！」ことをあげ、グループごとにテーマを決めました。水や水の循環は関連する分野が幅広く、難しい課題でしたが、A~Dの4グループそれぞれに特徴あるテーマが抽出されました。

#### 水に関して伝えたいテーマ

- A 下水のゆくえ (武蔵野市の水処理)
- B 水の今昔 (生活と水の歴史)
- C 水の安全と水質
- D 水の循環(ひとり一人ができること)

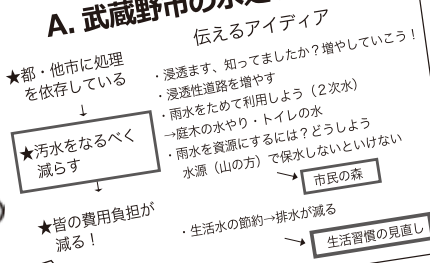
#### B. 水の今昔



グループ発表より



#### A. 武蔵野市の水処理



### 実物にふれ、体験することを大切に！

テーマを決めた後、効果的に伝える方法についても話し合いました。受講生からは、2回の見学ツアーの経験から、「実物を見て、ふれることでより理解が深まる。記憶に残る」「楽しく学べることも大切」といった意見がありました。スペースが限られる環境フェスタに向けては、「きき水」やクイズ、映像、語り部など、五感を使ってコミュニケーションを図りながらメッセージを伝えていく方法が支持を集めました。

各グループのアイデアを受けて、武蔵野市の水に関するクイズ、これまでの講座を紹介するスライドショー、「きき水」体験、ミニ実験などを準備し、当日は受講生有志がブースに立って、これまで感じたこと、伝えたいことを直接来場者に解説することになりました。

#### 受講生の声より

- 各グループごとにテーマを決め、市民に知ってもらいたいことをグループで話し合い発表。なんか充実した時間でした！
- グループワークをすることによって、他の参加者の方が本講座を通してどのようなことに興味をもったのか、様々な思いを知ることができてよかったです。
- 水の安全性、とくに飲み水のことをグループで話し合えて、あらためて水を大切に使う意義を感じました。
- 今まで学んできて感じたこと、考えたことは多いが、人にわかるように伝えることは難しいと思いました。
- 水と一言で言っても色々な水があり、それをどのように伝えていったら良いのか、アイデアがたくさんありました。
- 上水・下水の過去・未来について実体験に基づいた話を聞いて良かったです。
- 「水の学校」で学んだことをどう活かしていくか！だんだん分かってきました。
- 水に関心を寄せ続ける大切さを感じました。



## スペシャルプログラム「むさしの環境フェスタ」へブース出展！



第4回講座から2週間後の10/19(日)には、境南ふれあい広場公園・武蔵野プレイスで開催された「第7回むさしの環境フェスタ」に参加。武蔵野プレイス4階にて「水の学校」を紹介しました。第4回講座での話し合いを受け、「きき水」「クイズ」などの体験型コーナーを設け、受講生有志8名が解説役としてブースを訪れたみなさんに対応しました。

### 約160名が「きき水」を体験！

第2回講座で実施し、受講生にも好評だった「きき水体験」。水の安全性や普段使う水の水質について考える入り口として、こどもから大人まで楽しみながら参加できるということもあり、環境フェスタでも人気コーナーとなりました。今回は、「武蔵野市の地下水(原水をボトル詰めしたもの)」「東京都の水道水(葛飾区の家庭の蛇口から汲んだもの)」「ミネラルウォーター(外国産)」の3種類を味わい、一番おいしいと思った水に投票してもらいました。

結果は、僅差ですが武蔵野市の地下水が一番人気となり、普段から飲み慣れている味をおいしいと感じる方が多い様子でした。



### 受講生有志より

- 武蔵野市の水道水についてご説明できて楽しかった！
- 水について関心をもってくださいの方が多く、詳しく説明を聞いてくださってうれしかったです。

- 楽しませていただきました。人に説明するにはまず自分が理解していることが重要だと思います。
- 水循環の大摂理を見て、聞いて、触れて、多くの来場者の方と共有できました。

### 「むさしの水クイズ」& 「下水道に流せる？流せない？クイズ」

毎日、蛇口をひねれば出てくる水を何気なく使い、排水口に流している方が意外と多いのではないのでしょうか？

「水の学校」のツアーで見てきた水源の森や水再生センターについての知識を活かして、むさしのの水にまつわる3択クイズをつくり、来場者に挑戦していただきました。

「下水道に流せる？流せない？クイズ」では、8つの選択肢のうち、流してもよいのはトイレットペーパーのみ。実際に水に溶かして、ティッシュペーパーとの違いを実感していただきました。

**私たちが使った水は、主にどこへ行ってしまうの？**

A そのまま川に流している  
B 武蔵野市の下水処理場できれいにし、川に流している  
C 羽田空港近くの下水処理場できれいにし、海に流している

答えは... C

**「おいしい水」投票結果**

武蔵野市の地下水	65票
葛飾区の水道水	58票
ミネラルウォーター	35票

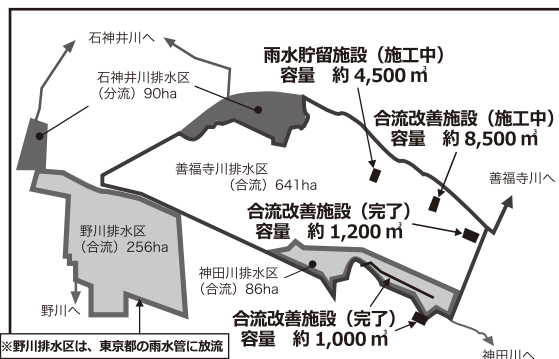
流せる？流せない？ <b>食用油</b> 	流せる？流せない？ <b>輪ゴム</b> 	流せる？流せない？ <b>髪の毛</b> 	流せる？流せない？ <b>ティッシュペーパー</b> 
流せる？流せない？ <b>生ごみ・食べ残し</b> 	流せる？流せない？ <b>ビニール</b> 	流せる？流せない？ <b>灯油・ガソリン</b> 	流せる？流せない？ <b>トイレットペーパー</b> 

## 水コラム no.4: 武蔵野市の水循環～雨水排水と下水道の合流改善

下水道には、汚水と雨水を一つの管で流す「合流式」と、それぞれ別の管で流す「分流式」があり、武蔵野市の下水道は、およそ90%が合流式です。合流式下水道では、通常時は汚水と雨水の混ざった下水が水再生センターに送られ処理されています。しかし、一定以上の降雨強度(4mm/時間)を超える雨が降ると、大量の雨水が下水道管に流れ込み、満管状態になってしまうことで、道路上などのマンホールから下水が溢れてしまいます。そうした被害の発生を防ぐため、下水の一部を水再生センターに送る前に河川に放流しています。

武蔵野市でも、それぞれの排水区によって善福寺川、神田川、野川、石神井川に放流していますが、汚れや公衆衛生上の問題が発生することがあるため、川への放流量を減少させるための事業を進めています。

### 武蔵野市の合流改善施設及び雨水貯留施設建設位置 合流式下水道改善施設(貯留槽)の整備



善福寺川排水区を対象に合流式下水道改善施設(貯留槽)の整備を進めています。地下に雨水貯留槽を設置し、汚水混じりの雨水が河川に放流されないよう、一旦雨水を貯めておく役割を果たします。

すでに工事を完了した2カ所(合計容量2,200m³)に加え、現在さらに1カ所の合流改善施設(容量8,500m³)を吉祥寺東町に整備しています。地下施設のため気が付きにくいですが、深さおよそ30mと、10階建てのマンションがすっぽりと収まってしまふほどの大規模施設です。

合流改善施設が完成し、使用が始まると未処理の汚水の放出は現在の2分の1ほどに減らすことができます。

※武蔵野市の污水处理区と排出先については、「水の学校 NewsLetter No.1」をご覧ください。